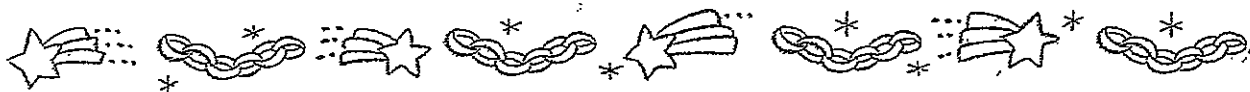




7月のほけんだより

令和4年 7月号
第一ルンビニ園

蒸し暑い日が続いていますが、梅雨が明けるといよいよ夏到来です。体がまだ暑さに慣れていないので、熱中症にも注意が必要です。こまめに水分補給を行い休息をとりながら熱中症を予防し、元気に暑い夏を乗り切りましょう



《 園児の健康状況 》

- ☆ 6月は溶連菌感染症の発症が多くみられました。たんぼぼ組(1歳児) 1名・さくら組(2歳児) 4名・すみれ組(4歳児) 4名が感染しました。溶連菌は発熱や喉の痛み、体の発疹等が特徴です。まれに腹痛や嘔吐の症状がみられることがありますので早めの受診をお勧めします。一度かかっても何度も感染してしまうことがありますので注意しましょう。
- ☆ 他園ではRSウイルスや水痘(みずぼうそう)の発生もみられるとの事です。外出する際には基本的な手洗い、うがいなどをしっかりと行い予防に努めましょう。

《 健診結果より 》

- ☆ 歯科検診・・・虫歯のお子さんもいたが、全体的には少なかった。コロナ禍で歯磨きができないこともあり少し歯の汚れが目立った。歯科衛生士さんからは歯磨きをいやがるお子さんに対して保護者も一緒に歯磨きをして『歯磨きは楽しいよ』ということ伝え、できたら褒めてあげることが大切とのアドバイスも頂きました。
- ☆ 内科健診・・・全体的に健康でした。汗をかく季節なのでアトピー性皮膚炎のお子さんは特にお肌の手入れをしっかりと行いましょう。

どうしたらいいの？

蚊の予防と対処法

蚊に刺されたらどうなるの？

子どもは新陳代謝が活発なので、虫に刺されやすく、肌が弱いと症状が強くなって出ることがあります。蚊に刺された時の皮膚反応は、刺されてすぐに赤くなってかゆみが出る場合と、刺されて1~2日で赤くなってかゆみが出る場合があります。新生児期はアレルギーが成立していないために無反応ですが、幼児期までは両者の反応が出るといわれています。実際には個人差があります。



予防のためにできること



虫よけ剤は、必要に応じて適切に使用しましょう。当園ではアースサラテクトミストタイプを使用

虫の多いところに行く時は、長袖・長ズボンを着せます。

蚊の発生源や多い場所には、近づかせないようにします。

蚊に刺された時の対処法

蚊に刺されてしまった場合は、刺されたところを水で洗い流して清潔にします。かゆみを軽減させるためには、水でぬらしたタオルや保冷剤などを使用して、冷やすことがおすすめです。必要に応じて、かゆみ止めを塗ります。

刺されたところをかきこわして細菌に感染してしまうと、とびひになることがあります。

